

楽しい言語学を学ぶ会

たのげん

言語学に関する知識を身につけ、言語学が言語の何をどのように考えるのかを知るための基礎講座です。実例を交えつつ、音声言語へのアプローチを解説していきます。現役手話通訳および将来的に手話通訳を目指す人（ろう者・聴者を問いません）を基本対象者としますが、講師は日本語で講義をおこない、ろう通訳による日本手話通訳を付与しますので、言語学に関心のある方でしたらどなたでもお申込みいただけます。

スケジュール

第1回	2018年1月27日（土） 13時～16時	言語学とは何か	第5セミナー室
第2回	2018年1月28日（日） 13時～16時	音のつくり（音声・音韻）	第5セミナー室
第3回	2018年2月3日（土） 13時～16時	語のつくり（形態）	第7セミナー室
第4回	2018年2月4日（日） 13時～16時	文のつくり（統語）	第7セミナー室
第5回	2018年2月24日（土） 13時～16時	言語で伝えるもの（意味・語用）	第5セミナー室
第6回	2018年2月25日（日） 13時～16時	色々な言語学	第5セミナー室

講師プロフィール

吉岡 乾（よしおかのぼる）

千葉県出身。国立民族学博物館・助教。
Ph.D.（学術、東京外国語大学）。



専門は、パキスタン北部・インド北西部の山岳地帯を対象とした記述言語学的研究。フィールド調査と、対照言語学的手法とを用いて、主に少数言語の記述をしている。最近の研究対象言語は、ブルシャスキー語、ドマーキ語、カティ語、カラーシャ語、ウルドゥー語。言語構造を調べる以外に、物語やことわざなどの収集もおこなっている。近著：『なくなりそうな世界のことば』（2017、創元社、ISBN：9784422701080）

参加費：無料

定員：各回 35 名

参加申込みは QR コード



*事前申込制です。当日申込は受け付けません。各回、定員に達し次第締め切らせていただきます。

*当日、記録写真の撮影をさせていただくことがあります。撮影した写真は、民博における展示・教育・広報関係に使わせていただく予定です。ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ・連絡用アドレス：

minpaku.shuwa.tanogen@minpaku.ac.jp